



詳しい情報は熊本市感染症情報をご覧ください

令和8年(2026年)第5週 2026年1月26日(月)～2026年2月1日(日)

熊本市 感染症発生動向調査 速報



E型肝炎について

E型肝炎ウイルス（HEV）による感染症で、衛生状態の悪い地域で多くみられます。先進国でも時々発生します。感染経路は経口感染であり、ウイルスに汚染された水や氷、野菜や果物、肉類を生で食べることによって感染することが多いとされています。

-主な症状- ウィルスに感染した後、2～10週間（平均6週間）の症状のない期間があった後、急な発熱、全身のだるさ、食欲不振、吐き気・嘔吐が見られ、数日後に黄疸（皮膚や目の白い部分が黄色くなること）がみられます。これらの症状は通常は1～6週間で自然に改善しますが、重症の場合、回復するまでに数週間から数か月かかることもあります。妊婦ではE型肝炎が重症になることが通常より多く、死亡する可能性があり、自然流産や早産のリスクがあります。

治療・予防方法は？

特別な治療はありません。症状に応じて治療し、安静にします。
A型肝炎やB型肝炎とは異なり、予防接種で予防することはできません。



食べもの・水に注意しましょう

十分に加熱調理（70°C以上で5分間）してあるものを食べましょう。
特に、ブタ、イノシシ、シカを生で食べることは危険です。途上国では、ミネラルウォーターや、煮沸させた水を飲みましょう。カットフルーツなども洗った水が汚染されていることがあるため、自分で皮をむいて食べるほうが安全です。皮の傷んだものは食べないようにしましょう。

手洗いをしましょう

食事の前には十分に手を洗い、E型肝炎患者の糞便からの経口感染を予防しましょう。

定点 種別	疾患名	状況	4週(1/19～1/25)		5週(1/26～2/1)	
			報告数	定点当り	報告数	定点当り
急性呼吸器感染症	インフルエンザ	○	398	16.58	754	31.42
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	△	18	0.75	22	0.92
	急性呼吸器感染症(ARI)	△	1724	71.83	2239	93.29
小児科	RSウイルス感染症	△	26	1.73	14	0.93
	咽頭結膜熱(プール熱)	—	3	0.20	2	0.13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	—	45	3.00	53	3.53
	感染性胃腸炎	—	73	4.87	79	5.27
	水痘(みずぼうそう)	—	7	0.47	4	0.27
	手足口病	—	13	0.87	6	0.40
	伝染性紅斑(りんご病)	—	20	1.33	15	1.00
	突発性発しん	△	13	0.87	7	0.47
	ヘルパンギーナ	—	1	0.07	1	0.07
	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	—	2	0.13	1	0.07
眼科	急性出血性結膜炎	—	0	0.00	0	0.00
	流行性角結膜炎(はやり目)	—	8	1.60	2	0.40
基幹	細菌性髄膜炎	△	0	0.00	0	0.00
	無菌性髄膜炎	△	0	0.00	0	0.00
	マイコプラズマ肺炎	△	4	0.80	0	0.00
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	△	0	0.00	0	0.00
	感染性胃腸炎(口タウイルス)	△	0	0.00	0	0.00

※「状況」欄は、疾患ごとの警報・注意報レベルを表示しています。表中の斜線は、基準値が定められていないことを示します。

○:警報レベル △:注意報レベル —:警報・注意報レベルなし